

平成28年度行政評価 施策評価シート (平成27年度実績)

施策名 家庭と地域における子育て支援

施策コード 030301

1. 施策の担当	
主管課	こども部 子育て支援課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ				
総合計画	政策	第3章 やさしさとふれあいのあるまちづくり (安心・健康)	節	第3節 児童福祉
	施策	家庭と地域における子育て支援		

基本方針

- ・ 地域における子育て支援について、在宅で保育を行う家庭を含むすべての子育て家庭に対する支援の観点から、利用者のニーズを十分にふまえながら、様々な子育て支援サービスの充実を図り、サービスの利用促進を行います。
- ・ 関係機関が連携し、児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図る総合的で組織的な対策を講じ、子どもに対する虐待のないまちづくりを推進します。

現況と課題

- ・ 次世代育成支援行動計画 (後期計画) の策定時には、市民に対して子育て支援に関するニーズ調査を基に、必要事業量を算出していますが、今後は、少子化の動向等を踏まえ、また、事業効果も勘案しながら、各種事業を進めていく必要があります。
- ・ 子育て支援短期利用事業 (ショートステイ) など子育て支援サービスについては、制度の周知が図られていないことから、利用につながっていない場合も考えられます。
- ・ 家庭や地域において、子どもを養育する機能が低下しているなか、家庭児童相談の充実や児童虐待の早期発見、早期対応を図るため、組織、体制の機能強化が求められています。

施策目標

対象 (誰を、何を、どこを)
子どもと子育て家庭

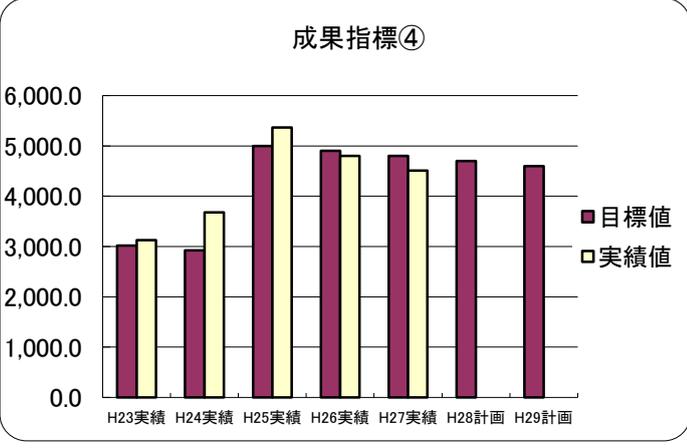
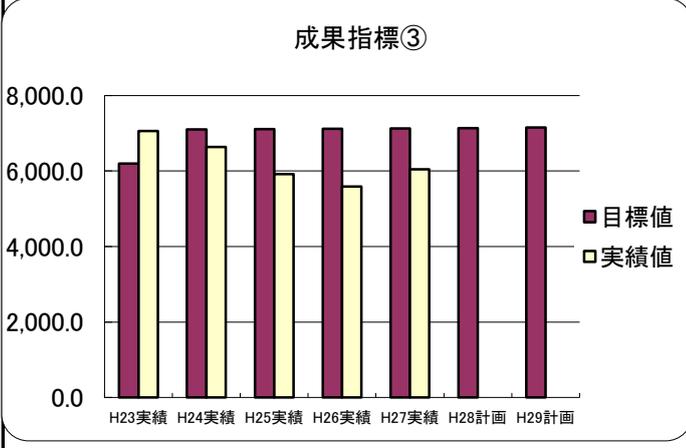
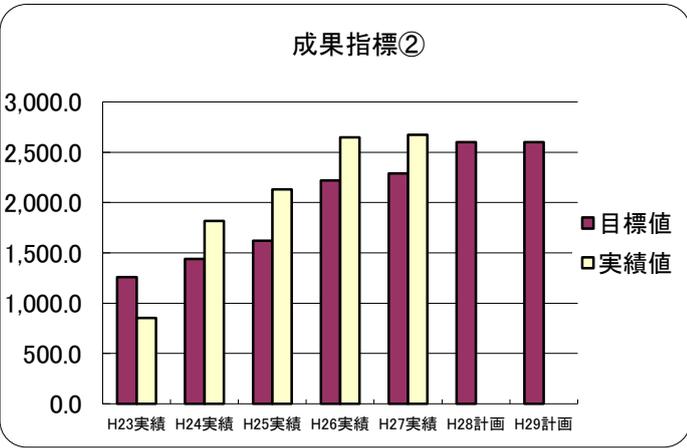
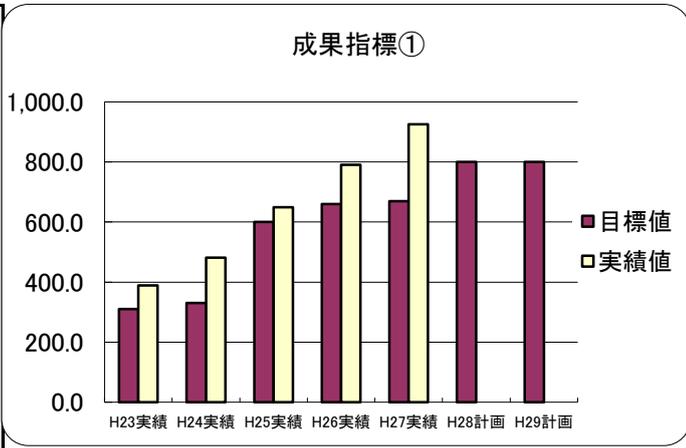
意図 (どのような状態にしたいのか)
子どもたちの健康を増進し、情操を豊かにすることを目的として、関連する支援を進めます。

3. 市民ニーズ							
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
満足度 (偏差値)		40.6					
重要度 (偏差値)		59.6					

4. 施策にかかるコスト								
	単位	H26決算	H27決算					
コストの内訳	人件費	千円	65,885	76,908				
	事業費		1,870,561	1,877,661				
	フルコスト		1,936,446	1,954,569				
財源内訳	国庫支出金	千円	1,192,318	1,161,805				
	府支出金		308,852	325,980				
	市債		0	0				
	その他		4,027	3,314				
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		431,249	463,470				
	一般財源2 (=直接事業費-特定財源)		365,364	386,562				

5. 施策の成果指標							
① 成果指標 1		ファミリー・サポート・センターの総登録会員数					
項目	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画
目標値	310.0	330.0	600.0	660.0	670.0	800.0	800.0
実績値	389.0	481.0	649.0	791.0	926.0		
達成度	125.48	145.76	108.17	119.85	138.21		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
登録会員（依頼会員・提供会員）が増えることにより、市民の子育て支援活動が活発化している状況がわかります。		平成20年度事業開始の新規事業であり、毎年10人の登録者増で試算しています。 平成25年度の後期計画策定時に25年度の実績等を勘案し、最終目標値を350件から800件に見直しを行いました。		広報掲載や講座等を活発に活動した結果、効果が現れたと思われる。登録会員の内訳は利用会員826人、提供会員87名、両方会員13名となっている。今後提供会員を増やしていく必要があります。			
② 成果指標 2		ファミリー・サポート・センター会員の年間活動回数					
項目	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画
目標値	1,260.0	1,440.0	1,620.0	2,220.0	2,290.0	2,600.0	2,600.0
実績値	853.0	1,817.0	2,131.0	2,647.0	2,674.0		
達成度	67.7	126.18	131.54	119.23	116.77		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
ファミリー・サポート・センター会員活動回数により、市民の子育て支援活動が活発化している状況がわかります。		平成21年度を75回/月×12ヶ月＝900回とし、平成25年度は135回/月×12ヶ月＝1,620回（年ごとに月15回ずつ増加）としていたが、平成27年実績値を勘案し最終目標値を2,600件としました。		利用内容として、送迎の利用が1083件、送迎を伴う預かり保育763件、預かり保育274件、その他援助活動554件。			
③ 成果指標 3		地域子育て支援センター年間利用者数					
項目	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画
目標値	6,200.0	7,100.0	7,110.0	7,120.0	7,130.0	7,140.0	7,150.0
実績値	7,060.0	6,636.0	5,916.0	5,587.0	6,044.0		
達成度	113.87	93.46	83.21	78.47	84.77		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
地域子育て支援センターで実施する各事業（「おひさまクラブ」や「よちよちルーム」）の利用数を把握することにより、保育所や幼稚園に通っていない子育て家庭の支援が図られているかが分かる指標となります。		今後も少子化が進行していくことが予想される中、平成23年度実績に基づいて、毎年10件ずつ利用家庭数を増やしていくことを目標として設定しています。		地域における子育て支援の拠点施設として、今後の利用者数の増加が見込まれます。			
④ 成果指標 4		家庭児童年間相談件数					
項目	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画	H29計画
目標値	3,022.0	2,922.0	5,000.0	4,900.0	4,800.0	4,700.0	4,600.0
実績値	3,129.0	3,677.0	5,365.0	4,798.0	4,510.0		
達成度	96.58	79.4	93.1	102.1	106.4		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
児童虐待の未然防止、早期発見及び早期対応が図れているか、相談件数を把握することで、その状況が分かるため、指標に設定しました。		平成22年度の実績より、相談件数は毎年増加傾向にあるものの、目標としては、家庭児童相談に応じていく中で、毎年100件ずつ減らしていくことを目標として設定しています。 平成25年度後期計画策定時に平成24・25年度の実績等を勘案し、目標値の見直しを行いました。		延相談件数は前年より減少したものの、実件数（H26年度441件→H27年度488）が増加している。相談内容は、精神不安を抱える保護者、特定妊婦及びDVに係るケースなど複雑多様化し、平成23年度までは身体的虐待の実件数が多かったが、平成24年度以降はネグレクト（育児放棄）や心理的虐待の件数が増えている傾向がみられる。「居住実態が把握できない児童」への対応など新たな課題解決にも努めました。			

図表



6. 施策の事後評価			
	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 4	平成28年4月からこども医療費制度助成事業は、通院分の対象年齢を中学校3年生年度末までの拡充。平成27年10月に泉佐野市要保護児童対策地域協議会に教育支援部会を設置し、教育、福祉部門との連携強化に努めました。また、要対協の講演会を実施し、児童虐待の啓発を進めました。ファミリーサポート年間活動回数は目標値を上回る結果となりました。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 1	実際のサービスの利用の有無に関わらず、制度として必要な事業であり、また、「次世代育成支援行動計画」策定時に実施したアンケート調査では、子育てに悩みや不安を抱えている子育て家庭も多く、親子が集える場、親同士の交流できる場、子育ての相談ができる場を求めている声も多くなっています。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	児童虐待件数の増加だけでなく、精神不安を抱える保護者等、特定妊婦への対応など内容も複雑多様化していることから、児童虐待防止を更に推進していく必要があります。
	合計点	(10点中) 8点	
	総合評価	B	児童虐待については、養育問題（離婚・DV・経済的困窮・親の疾病・障がい・死亡等）、子どもの発達、非行、不登校等、様々な要因や課題が複雑に絡み合っているが、これからも子育て支援課及び関係機関の社会資源をフル活用し、課題解決に努めていきます。
二次評価（政策推進課・行財政管理課による評価）	B	地域子育て支援センター利用者数の向上に努めること。	
三次評価（理事者による評価）	B	地域子育て支援センター利用者数の向上に努めること。	

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			H27年度決算額			H28年度予算	一次評価
予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源			
1	01023000	家庭児童相談室運営事業	24,126	664	664	683	B
2	01023300	助産施設措置事業	2,556	9,384	2,022	10,118	B
3	01023500	こども医療費助成事業	7,633	190,629	126,474	226,808	A
4	01023800	子育て支援短期利用事業	255	0	0	131	B
5	01024220	次世代育成支援対策事業	23,623	2,611	-3,175	3,031	B
6	01080350	地域交流センター施設管理事業	852	5,426	4,538	5,862	B
7	01080900	児童手当等給付事業	10,312	1,661,721	255,551	1,711,144	B
8	01081290	乳児家庭全戸訪問事業	4,143	2,033	-563	2,401	B
9	01081570	養育支援訪問事業	1,704	215	71	475	A
10	01082360	未熟児養育医療給付事業	1,704	4,978	980	6,987	B
合計			76,908	1,877,661	386,562	1,967,640	